

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会						
①	指標名	学童・あそべえ事業の委託化に向けた検討			目標値	平成28年4月から受託できるように必要な体制を整える	実績値	検討した結果平成28年4月から市で試行することとなった。
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施・ <input checked="" type="checkbox"/> 未達成・達成
	取組内容	①児童青少年課をはじめ関係課と協議を進め、まずは市でモデル校3校を指定し、平成28年4月から試行を始めることとなった。 ②事業の受託にあたっての具体的な課題（受託範囲、雇用形態と予算、変則労働時間制の適用）について検討した。 ③人員体制案に基づいた雇用形態の検討を行ったが、職員数や勤務条件などで色々な考え方があり結論を出せなかった。 ④理事会、評議員会に説明をし、一定の理解は得たが、事業内容に関して承認は得られていない。						
	一次評価	子ども協会が果たすべき役割や委託後の職員の勤務形態・給与などのシミュレーションを行った。正規職員の範囲や給与体系など内容をまだまだ詰めなければならないことがあり、明確な方向性をまとめきれなかった。また、子ども協会の理事会、評議員会の中でも色々な意見があり、今後、それぞれの理解を得た上で、東京都と事業内容の変更などについて協議し、平成29年4月の事業受託に向けて急ピッチで準備を進めていく。						
	二次評価	平成29年4月の事業受託に向け、モデル事業を通して把握した具体的な課題に対応し、主管課と十分協議を行い、円滑な受託への取組みに努めていただきたい。						
②	指標名	老朽化した施設の改修への対応			目標値	施設の適正な維持管理と改修の財源確保の検討	実績値	当面の維持管理に関しては市と協定を締結。将来のことは検討中。
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	30.0%	達成状況	未実施・ <input checked="" type="checkbox"/> 未達成・達成
	取組内容	①市から移管された施設について、市と「子ども協会施設の営繕工事に伴う業務に関する協定書」を締結した。 ②子ども協会で建設した施設については、民間の設計会社に包括的な維持管理を委託するための協議をし、必要な予算を市に要求した。（結果として認められなかった。） ③今後の施設管理のあり方について、さらに市と協議を続けている。						
	一次評価	老朽化した施設で安全面から緊急工事をしなければならない時でも財源的に裁量の余地が極めて限定的なため、すみやかな対応が困難である。当面の維持管理に関して、また、将来どうするべきなのか、引き続きよく市と協議をしていかなければならない。						
	二次評価	移管された施設の維持管理については、引き続き市と協議し、安全確保とサービスの維持、向上に努めていただきたい。						
③	指標名	職員の給与制度のあり方の検討			目標値	新たな給与制度の体系をつくる	実績値	市の給与制度の見直しに沿って、給与制度を見直した。
	過去の実績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達成率	90.0%	達成状況	未実施・未達成・ <input checked="" type="checkbox"/> 達成
	取組内容	市の給与制度の総合的な見直しに沿って、子ども協会の給与制度等を見直した。（28年4月から） ①給料表の改定（1.7%減額の表に改定し、現給保障を2年間行う）②地域手当の改定（15%を16%に）③扶養手当の改定（15,000円を13,500円に、9,000円を6,000円に等。）④期末勤勉手当の職務加算率の改定（係長職10%を8%に）⑤昇給停止年齢の見直し（57歳を55歳に）⑥初任給の経験年数の加算の見直し（180か月を120か月に）⑦子の看護休暇適用年齢を中学校就学前までに拡大⑧職員研修計画の作成（27年度から）						
	一次評価	固有職員が130名（28年4月1日現在）となった子ども協会は、ガバナンスの強化とともに、今まで以上に職員の育成に力を入れており、職員研修計画の策定や主任昇任試験制度の導入を図り、職員のやる気を高めながら、市や他の財政援助出資団体とバランスの取れた人事・給与制度の構築を進めている。28年4月に向けて大幅な給与制度の見直しを実施したが、まだ見直しのできていない部分と係長昇任制度や人事評価制度の検討など、今後も引き続き検討を続けていくべきである。						
	二次評価	組織の拡大に伴い、給与制度や昇任制度、人事評価制度などの整備により組織の管理運営の強化と職員のモチベーションの向上に取り組んでいただきたい。						